

「宮ヶ瀬小・学校の休校」について

令和5年10月31日に開催された教育委員会定例会において、宮ヶ瀬小学校は、児童数の減少を主な要因として、令和6年4月1日から休校とすることに決定しましたので、お知らせいたします。宮ヶ瀬中学校については継続といたしました。

今後は宮ヶ瀬地区から緑小学校、緑中学校に通学する児童・生徒並びに引き続き宮ヶ瀬中学校に通う生徒が不安なく過ごせるよう環境整備に努めてまいります。

今回の休校という決定は、児童・生徒や保護者、地域の皆さんには、忍びない思いを抱きながらも、近年の情勢を踏まえて、慎重に検討した結果であり、今後も充実した学校教育の実現に向け取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

教育環境について

全国的に少子化が進む中、本村においても児童・生徒数が減少しています。

学校教育においては、児童・生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要であり、一定の集団規模が確保されていることが望まれます。

学校の状況

宮ヶ瀬小・中学校においては、極小規模校（※複式学級のある学校）であるため、児童・生徒の社会性の育成、学校運営などに困難な場面があります。

これまで、学校の規模などによって生じる教育上、学校運営上の諸問題を解決するため「きめ細やかな教育の実践」や学校現場においてもさまざまな工夫で対策を行い、教育環境を整え、教育の質の向上に努めてきました。しかし、現在、宮ヶ瀬小学校の児童数は2名、宮ヶ瀬中学校の生徒数は3名という状況になり、今後も宮ヶ瀬地区の人口推移からこの減少傾向が続くと見込まれています。

そのため宮ヶ瀬小・中学校の今後のあり方について、5月と10月に保護者との懇談会を行い、また、学校や県教育委員会などの関係機関とも協議を進め、次のとおり決定しました。

宮ヶ瀬小学校は休校

保護者からさまざまな意見をいただき、中には学校の継続を希望する家庭もありましたが、今後、将来の入学希望者や学校運営、教育の質の確保などの観点から令和6年4月1日から休校にせざるを得ないと判断し、決定しました。

宮ヶ瀬中学校は継続

在校生や保護者の考えを聞いた上で、在校生は高校受験を控えていることから、このまま継続と決定しました。

今後について

- ・ 今後は、関係機関などと協議をしながら宮ヶ瀬小学校の休校に向けて事務手続きを進めていく予定です。
- ・ 宮ヶ瀬小学校の休校について、宮ヶ瀬地区において説明会を行いたいと考えています。